



獨國待命海軍大將「リハルド、フェルスター」  
叙勲ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十四年六月七日

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎



内

閣

賞勳局告示第三〇號

外務省 三一

昭和十四年六月八日  
昭和十四年六月八日施行  
昭和十四年六月八日施行

昭和十四年六月六日 内閣書記官長

内閣書記官長

内閣總理大臣

賞勳局總裁



獨國待命海軍大將「リハルド、フェルスター」ハ今般訪日獨逸新聞記者團團長トシテ來朝日滿支各地ノ視察狀況ヲ本國ニ報告シ彼我國交増進上寄與スル所アリ且同人ハ昭和十二年二月ヨリ日獨協會長及日本學會長トシテ秩父宮殿下御訪獨ノ際種々御世話申上ケタルノ

賞勳局

ミナラス本邦人ノ視察見學等ニ常ニ多大ノ便宜ヲ供與シ又日獨協會支部ノ増設其ノ他諸種ノ施設ヲ講シ兩國民ノ相互理解ノ促進及本邦事情ノ紹介ニ貢獻スル所尠カラス尚曩ニ成立セル日獨文化協定締結ニ關シテモ關係各方面ト連絡シテ側面ヨリ盡カスル等功績顯著ナリトス仍テ今回ノ來朝ヲ機トシ此際外務大臣上奏頭書ノ通敍勲被仰出可然哉此段允裁ヲ仰ク

裏面白紙

獨國待命海軍大將「リハルド、フェルスター」儀別記ノ通功績有  
之候處今般來朝致候ニ付テハ此際右功勞ヲ御表彰被遊頭書ノ通敍  
勳被仰出候様仕度此段謹テ奏ス

昭和十四年六月五日

外務大臣 有田 八郎



外務省

勳一等瑞寶章

獨國待命海軍大將

リハルド、フェルスター

右者訪日獨逸新聞記者團々長トシテ今般來朝シ約一箇月ニ亘リ日、  
滿、支各地ヲ視察シ多大ノ感激ヲ以テ躍進日本ノ政治、經濟、軍  
事、文化等ノ諸相及東亞新秩序建設ノ現地ノ狀況ヲ本國ニ報告シ  
彼我國交増進上ニ寄與シツツアルモノナル處同人ハ嘗テ獨國聯合  
艦隊司令長官タリシ閱歴ヲ有シ獨國海軍ノ長老ナルノミナラス同  
國官民ノ間ニ極メテ聲望ヲ有スル親日家ニシテ昭和十二年二月故  
「ベンケ」大將ノ後ヲ襲ヒ日獨協會長及日本學會長ニ就任以來日  
獨親善關係促進ノ爲熱心誠實盡瘁シ來リ同年九月秩父宮殿下御訪

獨ノ際ハ誠意ヲ披瀝シテ種々御世話申上ケタルヲ始メ専ラ同人ノ  
發議及盡力ニ依リ昭和十三年六月「ケルン」市ニ又本年二月「ウ  
イーン」市ニ夫々日獨協會支部ノ設立ヲ見又最近「フランクフル  
ト」市カ著シク親日的氣運濃厚トナリ同市ニ日獨協會支部設立ノ  
實現セラレタル如キモ主トシテ同大將ノ努力ニ負フ所ナリ而シテ  
日獨協會ノ事業トシテハ従前ノ如ク毎月定期例会二回、毎年冬季  
及夏季ニ大會ヲ催ス等日獨兩國民ノ相互理解ノ促進ニ努メ別ニ日  
獨婦人會ヲ設ケ講演映畫等ニ依リテ絶エス本邦事情ノ紹介ニ力ヲ  
致シ又在留本邦人及渡獨本邦人ニ對シ各種ノ視察、見學、旅行等  
ニ關シ多大ノ斡旋ヲナシ殊ニ我海軍將校ノ獨國駐在見學等ニ關シ  
テハ特別ノ便宜ヲ供與スルヲ常トセリ

一方昭和十三年十一月日獨文化協定締結ニ關シ同大將ハ關係各方面有力者ト連絡シテ之カ成立上側面的ニ盡力セル所甚大ナルニ加ヘ日獨教授學生交換事業ノ促進上亦多大ノ努力ヲナシ更ニ本年三月伯林ニ開催セラレタル日本古美術展覽會ニ關シテモ熱心ニ後援シ其成功ヲ收メシムルニ不尠貢獻セル等同大將ノ日獨國交増進上ニ致セル功績顯著ナリト謂フヘク尙同大將ハ日獨協會長就任ニ際シ特ニ「ヒトラ」總統ノ激勵ヲ受ケ又「リッベントロップ」外相ノ支持ヲ得居ルノミナラス今回來朝ニ當リテハ日獨協會長ノ資格ヲ以テ同外相ノ旨ヲ承ケ我方文化關係方面トノ連絡接觸ノ任務ヲ有シ既ニ夫々實効ヲ舉ケツツアルハ看過スヘカラサル所トス

機密



外務省第三〇一

儀機密第四五〇號

昭和十四年六月五日

主任者、儀典課、笠原

外務大臣 有田 八郎



内閣總理大臣 男爵平 沼 騏一郎 殿

獨國待命海軍大將「フェルスター」敍勳ノ件

獨國待命海軍大將「リハルド、フェルスター」敍勳ノ儀別紙ノ通

Richard Förster

上奏致候間至急可然御取計相成度此段申進候也

外務省

(日本標準規格B5)



機密



外務省  
第三

儀機密第四五〇號

昭和十四年六月五日

外務大臣 有田 八郎



内閣總理大臣 男爵平 沼 騏一郎 殿

獨國待命海軍大將「フェルスター」敍勳ノ件

獨國待命海軍大將「リハルド、フェルスター」敍勳ノ儀別紙ノ通

Richard Förster

上奏致候間至急可然御取計相成度此段申進候也

外務省

(日本標準規格B5)



181

裏面白紙